

採用年度	平成 28 年度
お名前	矢代 敏久
派遣期間	平成 29 年 2 月 28 日 ~ 平成 31 年 8 月 9 日 ※「出産・育児に伴う採用の中断」に要する期間を含む
領域/分科/細目	生物学／基礎生物学／生物多様性・分類
派遣国	オーストラリア
受入機関名	The University of Sydney
受入機関部局名	School of Biological Sciences
研究概要	「なぜ多くの生物にオスとメスが存在するのか？」という問いは、進化生物学における最大の謎の一つと言われていています。オスとメスで行う有性生殖とメスのみで行う単為生殖には、それぞれ長所と短所が存在しますが、シロアリの社会は有性生殖と単為生殖を巧みに使い分けることで、多様に進化してきたことが分かってきました。本研究では、シロアリの多様な繁殖システムの実態を解明することで、生物における「性」の進化的意義の理解を深めることを目指しています。
派遣前の準備についてのアドバイス	派遣前の準備として最も時間を要したのは、ビザの取得です。オーストラリアに海外特別研究員として派遣される場合、客員研究員ビザ(サブクラス 408)の取得が必要となります。私の場合、直前に取得予定のビザの制度が変更されたことと、申請時期がクリスマスやニューイヤーシーズンと重なり役所等が長期休暇に入ったため、通常よりも取得に時間が掛かりました。今回の派遣先であるシドニーは、世界的に見ても治安の良い都市ではありますが、今回の派遣には、妻と出国数ヶ月前に生れた娘も同行するため、居住地区の選択は慎重に行いました。インターネットでは得られない情報も多いため、シドニーに在住する妻の友人からのアドバイスがとても参考になりました。なお、アパートの賃貸契約を結ぶ際には、物件まで直接出向く必要があり、日本国内からでは契約が行えず、現地到着後数週間のホテル住まいを余儀なくされました。
派遣中に問題になりうることについてのアドバイス	現地での銀行口座の開設と携帯電話の契約を早めに済ませておくことで、アパートの賃貸契約や電気・水道・ガスの契約などがスムーズに行えます。シドニーで電車、バス、フェリーなどの公共交通機関を利用するには、オパールカードの入手をお勧めします(個別のチケット購入は非常に面倒です)。オパールカードは、ニューサウスウェールズ州内で使えるプリペイド型 IC カードで、コンビニ等で購入でき、駅で必要に応じて残高をチャージできます。また、今回の派遣に同行している妻にとっては、初めての海外生活で、さらに幼い娘と派遣後に生れた息子を抱え、かなり負担を掛けていますが、近所で毎週行われる日本人マザーズグループの集まりに参加したことで、現地の友人にも恵まれ、シドニーでの子育てのアドバイスを頂いています。
派遣先での生活の様子	シドニーは、おおむね人が優しく、例えば、私たちのような小さな子供を持つ親が困っていれば、積極的に声を掛け助けてくれます。また、オーストラリアは英語圏の国ですが、非英語圏からの移民も多く、英語が母国語でない人への周りの対応も寛容です。ただし、シドニーは物価が高く、特に家賃は高騰しており、お財布にとって優しい都市ではありません。シドニーは、大都市と自然の両方の魅力にあふれ、観光都市としても有名です。そのため、家族で楽しめる場所やイベントが沢山あります。既婚者は、可能な限りご家族と同伴されることをお勧めします。
海外特別研究員に採用されて良かったこと	受入研究者の承諾が得られれば、海外の行きたい大学の行きたい研究室で、長期間にわたり研究活動に専念できている状況は、非常に有り難いです。新たな研究技術や人脈を得たことと、さらに海外に出身研究室ができたことは、今後研究を続ける上で大きな財産となるでしょう。また、私の場合、派遣期間中に日本で妻が息子を出産し、妻の体調が悪かったこともあり、「出産・育児に係る採用の中断及び延長」を許可していただきました。派遣中断中も、海外特別研究員としての身分はそのまま保持されるため、研究自体は継続的に行うことができ、とても助かりました。